



道路建設産業労働組合協議会

〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPPO労働組合内)

電話03 (3563) 6744

URL <http://www.doukenroukyou.com>

＜第33回定期大会報告＞

2018年7月20日(金)に日暮里のホテルラングウッドにて第33回定期大会が開催されました。今大会での代議員の人数は、加入組合毎の規程人数と地方協議会議長の4名を合計した総数37名であり、本大会代議員37名の出席により大会の成立が確認されました。来賓は、日建協(久保田議長)・長谷工グループ労働組合(澤村中央執行委員長)・全電工労連(荒木事務局長)・通建連合(反田議長)が出席され、日建協の田中議長より祝辞を頂きました。



その後、議事に従い各担当役員より2017年度経過報告・2018年度運動方針(案)・2018年度予算(案)の説明があり、全ての議事が満場一致で承認されました。

役員選挙では、中央執行委員の山本英人氏(NIPPPO労働組合)、静正人氏(三井住建道路労働組合)、杉原慶太氏(東京舗装工業社員労働組合)、会計幹事の雲村冠弘氏(大林道路職員組合)、中田旨洋氏(大成ロテック社員組合)の5名が退任し、新任として、中央執行委員に八波良一氏(NIPPPO労働組合)、沢尾賢一氏(三井住建道路労働組合)、西田達郎氏(東京舗装工業社員労働組合)、会計監事に上村将広氏(大林道路職員組合)、大澤哲夫氏(大成ロテック社員組合)が就任しました。退任された山本中央執行委員はじめ4名の役員におかれましては、長年の道建労協での活動、大変お疲れ様でした。

＜2018年度の取り組み＞

第33回定期大会に於いて議長に再任されました赤田 淳と申します。道建労協加盟の各単組の皆様にとって、少しでもお役に立てるよう一生懸命頑張ります。さて、2018年度の始めに当たり一言ご挨拶申し上げます。昨今、経済は緩やかな回復基調であり、建設投資についてもここ数年は急激な増減はないと言われていています。我々道路建設業界におきましては、原油高騰の影響が強く、昨年は減益傾向にありました。また、コンプライアンス違反により、8社が営業停止処分受け、どの企業も人材確保が課題となっている中で、マイナスイメージを残してしまいました。今学生たちは公務員志望の方が多く、収入よりも、きれいなイメージが有り、土日しっかり休むことができ、プライベートを充実できる環境を望んでいます。我々も、まずクリーンな会社であり、休める環境を作らなければ人は集まりません。皆さんご存知の通り、私達は6月と11月に土曜閉所推進運動を行っています。国交省はじめ各団体、道建労協加盟単組はもちろん、非加盟の同業者にも訪問し、土曜閉所を要請しています。意見交換の中で、「発注者が変わらなければ休めない」「得意先の要望に応えるため閉所できない」という悲観的な方もいらっしゃいますが、アンケート結果を見ても例年20%程度であった月全体の閉所率も、昨年度は6月、11月とも30%を越え、少しずつですが確実に前に進んでいます。この強調月間の閉所率が50%を越えてきたら4週6休、7休と拡大して活動していくつもりです。

『働きがいのある職場の環境づくりと豊かな生活の実現』というビジョンを持ち続け、魅力ある道路建設産業を目指していきます。

(議長 赤田 淳)



【山登り】

社会人になり遠のいていた登山ですが、20年ぶりにはまっています。いわゆる低山で、一から鍛え直している最中ですが、道員も一揃え購入してしまい、家人の目もあるので、継続したいと思っています。さて、山行当日はもちろん事前の山選び、どのコースからアプローチするか考えることも楽しみとなっています。山の頂上は一つかありませんが、そこへ到達するには多様なコースがあるので。先日、地図にとらめつしながらコース選びしていましたが、ふと私たちが組合で目指している「休日取得」や「時短」も同じなんだと気付きました。単組ごと組合員一人ひとりが同じ目標つまり頂上を目指しているわけですが、各自がいろいろなコースを選択して登っています。頂上に立ったときの景色は格別です。きつい上り坂を歩いていると思いますが、皆が頂上で会えるよう邁進しましょう!!

大林道路職員組合

尾崎 吉明

7
ウェイ

第 32 回労使セミナー

2018年1月18日(木)、ホテルラングウッドにおいて第32回労使セミナーが開催されました。当日は道建労協加盟単組の執行部や建設産労懇の役員の皆様、道建協総務研究会を中心とした加盟各企業の総務・人事部門の皆様、日合協の皆様をお招きし、講師に元競輪・自転車競技選手で、現在は日本自転車競技連盟強化委員長、世界選手権10連覇という前人未踏の大記録を作られた“ミスター競輪”こと、中野浩一氏をお迎えして『組織のリーダーとして、職員のモチベーションを上げるための取り組み』と題し、講演していただきました。

今回のセミナーは、「メンタル・モチベーションの維持」「コミュニケーションの取り方」「プロフェッショナルリズムとは」の各テーマについて対話形式で進行する形を取りました。

継続して世界選手権に出場することでモチベーションを維持し、周りの人達のサポートを受けながらメンタルを保ち、常にチャレンジする気持ちが大切とのことでした。支えてくれる人達がいることで結果が残せたと改めて実感しているとのことでした。

コミュニケーションについては、間違ってもいいから相手に伝えたい、理解させたいと思う気持ちがあれば伝わるもの。いつも心の扉を開けて待っているとのことでした。

芸能活動も行いながら多忙な日々を過ごされていたが、何があっても必ず毎日の練習は怠らなかったとのことでした。

『継続は力なり』その結果が世界選手権10連覇の偉業に繋がったのではないのでしょうか。

最後に、道建労協のビジョンは「働きがいのある職場の環境づくりと豊かな生活の実現を目指す」です。継続は力なり。諸問題の解決に向けて継続して活動してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

前田道路労働組合 龍王 嘉比土



第33回単組支援セミナー

2018年7月20日(金)、道建労協の第33回定期大会終了後、こちらも毎年恒例となっている「単組支援セミナー」が開催されました。今回はj. union株式会社よりソーシャルスキルトレーナー/キャリアカウンセラーの中岡祐子氏を講師に迎え、「自分らしく輝くための生き方バランス術～自分で出来る生き方改革のススメ～」と題し、講演を行なっていただきました。内容は、まず自分自身の現在における生き方を把握した上で、「本来の自分」が要求していること(夢や目標)を書き出し、残された人生の中でどのように実現していくかというものでした。また、自分が生きていく上で、与えられた役割、その配分について年齢ごとに考えていくことも大切とのことでした。私も生活する上で、おおまかに自分は「会社」「夫」「父親」程度の役割しか認識していませんでしたが、両親から見た「子」としての役割も残ってますし、生活する上で「地域住民」として、趣味を持つ上での「余暇人」として、自分は様々な役割を担って生きていることに気付かされたセミナーでした。

大林道路職員組合 尾崎 吉明



中岡 裕子 氏

北陸・東北地区 関係団体及び加盟単組企業訪問

2018年5月25日（金）北陸地区、28日（月）東北地区の地域交流会と併せて各地区関係団体と加盟単組企業の訪問を行いました。政府が主導する働き方改革に対して、業界が時短・休日取得に対する認識が高まるなか、使用者側の意識にも変化が現れてきました。各社人材の確保や離職防止という観点からも企業が独自にルールを決めて土曜閉所及び休日取得活動に積極的に取り組んでいる印象を受けました。しかし、取り組みはまだ道半ばであり、これから発生する諸問題に対しては労使一体となって解決していき、大きな流れにしていかなければなりません。そのためには、道建労協の加盟単組間でも取り組みについて情報を共有して、出来ることから一つずつ改善し、前に進まなければならないと思います。各加盟単組が一丸となって土曜閉所活動に取り組み、働きがいのある職場と豊かな生活の実現を目指していきましょう。

大成ロテック社員組合 江島 貴行



スケジュール

第33回定期大会にて承認されました年間スケジュールを紹介いたします。内容については前年とほぼ同じであります。活動の経緯報告については御時ホームページや機関紙などで紹介いたします。

2018 年度道建労協年間スケジュール

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
各種会議	三役・中執			三役・中執			三役・中執			三役・中執		
大会	単組大会	単組大会	単組大会	単組大会								定期大会
企業訪問			企業訪問							企業訪問		単組大会
研修会 セミナー						労使 セミナー (中旬)						単組支援 セミナー
地協活動	幹事会		地域交流会	幹事会	(地域連絡会)	(地域連絡会)	幹事会			幹事会 地域交流会		地協代表者 (地域連絡会)
春闘への取組			年齢構成調査	調査時報			基本方針	情報交換	情報交換	情報交換	情報交換	
産 労 懇		運営委員会 土閉共同プレス			総会/セミナー		運営委員会			運営委員会 土閉共同プレス	運営委員会	
機 関 紙		96号			番外編	97号						番外編
ポスター				土曜閉所							土曜閉所	
アンケート					土曜閉所							土曜閉所
関連団体訪問 その他			厚労省・国交省 道建協・日合協 加盟単組	全国ボウリング 大会						厚労省・国交省 道建協・日合協 非加盟単組	休日フォト コンテスト	

地協のない地域の交流会

東北地協



2018年5月28日（月）に仙台ガーデンパレスにて地協のない地域の交流会（東北地区）が開催されました。交流会では、各単組の土曜所運動に向けた取り組みと時短・休日取得の取り組みについて意見交換を行いました。

各単組から多数の意見が挙がりましたが、道路建設産業を取り巻く労働環境は改善を重ねながらも課題は多く存在し、長時間労働・担い手不足・若手社員の離職などについては、参加された各単組のなかで共通の課題であることが印象的でした。これらの課題に対しては労使共通の認識を持って改善に向けて取り組まなくてはならないという認識を各単組の方々と共有することができました。土曜所運動に対する取り組みについては、統計をみると数年前と比べて徐々に成果が出てきていたので、土曜所推進運動が業界内で積極的に展開されていると感じました。組合側と会社側とで協力して土曜所を推進されている単組の取組を聞くことができ、大変参考になりました。

政府による働き方改革が推進されているということもあり、各単組は労働環境の改善に向けて具体的な取り組みを試行錯誤しており、より魅力ある業界にしていこうという前向きな意気込みが伝わりました。

会議終了後に懇親会では、終始和やかな空気のなか各単組の方々とさらに交流を深めることができました。同じ道路建設産業に従事する方々と話す機会は貴重な体験であり、全体を通して有意義な交流会となりました。



大成ロテック社員組合 東北支部 森 大地



北陸地協



2018年5月25日（金）新潟県カルチャーセンターにて、地協のない地域の交流会に参加させて頂きました。他社との交流や、他県の様々な状況を知ることができ、大変有意義な時間でした。特に連続休暇取得に向けての取り組みや働き方改革の認識が多く、大変参考になりました。それぞれの職場で抱えている問題点、普段考えていること等、ざっくばらんに話し合うことが出来たと思います。工務女子の活用や、現場で使えるタブレット等、現場負担を減らし、労働時間短縮を進め、連続休暇取得に向けて取り組んでいる事がよく理解できました。より良い道路建設産業となるように、微力ではありますが、時短に向けた活動を継続していきたいと強く感じております。昨今の状況から他社との交流は少なくなりましたが、地協のない地域の交流会は大変参考になりますので、これからも継続していくことを願っております。

NIPPO 労働組合 北信越支部 富田 真吉

ホームページのご紹介

道建労協では、加盟単組組合員への更なる情報発信ツールとして、ホームページを開設しております。

本部や地協の活動状況の報告に加えて、旬な話題・旬な情報を随時発信しています！

皆さん、奮ってアクセスして下さい！

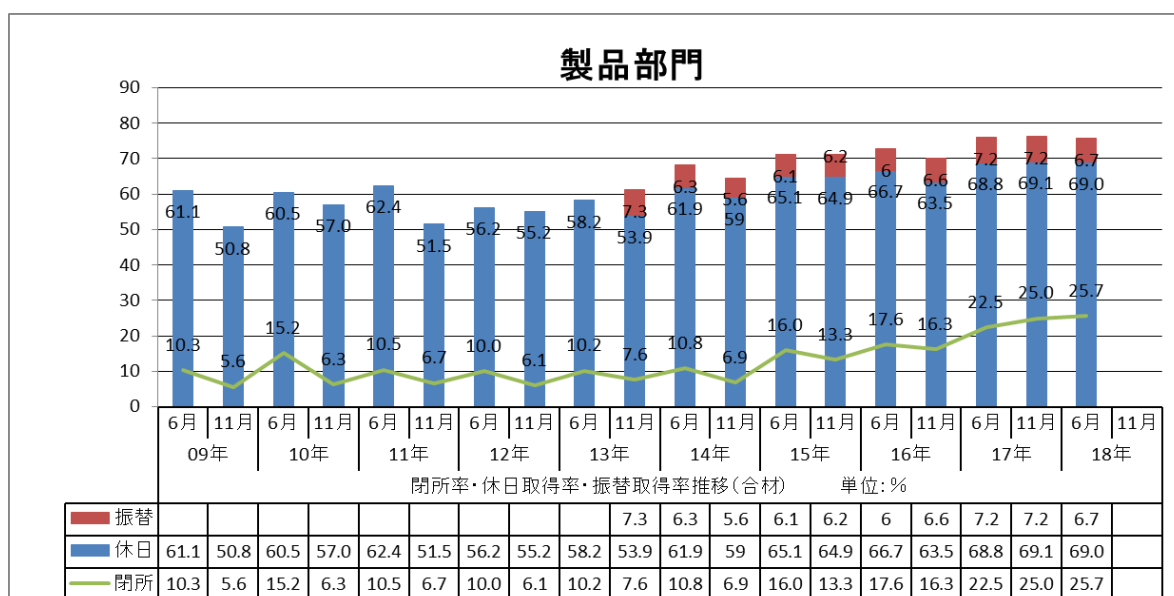
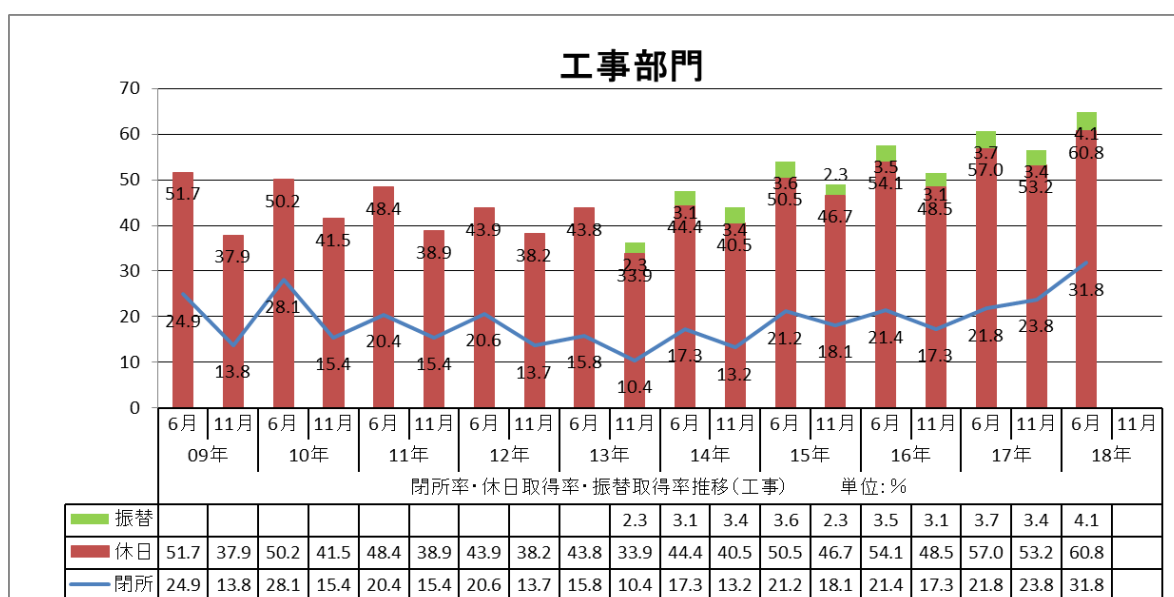
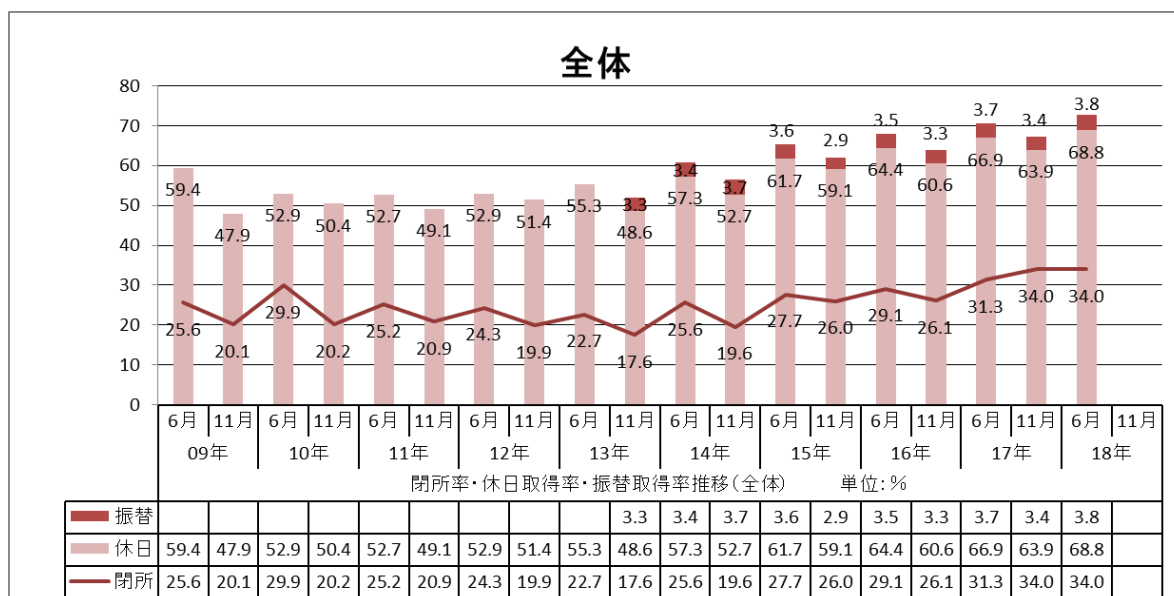
<http://www.doukenroukyou.com>

検 索



土曜閉所率・休日取得率の推移

※2018年6月の土曜閉所推進運動アンケート集計結果につきましては、別途発行の「PAVE 番外編」に掲載いたします。



新年度 役員紹介



**2018年7月20日開催の
第33回定期大会で
下記の方々が新役員となりました。**



赤田 淳
議長
(NIPPO労働組合)



松浦 孝
副議長
(前田道路労働組合)



尾崎 吉明
副議長
(大林道路職員組合)



江島 貴行
副議長
(大成ロテック社員組合)



龍王 嘉比土
事務局長
(前田道路労働組合)



八波 良一
中央執行委員
(NIPPO労働組合)



小林 和彦
中央執行委員
(前田道路労働組合)



沢尾 賢一
中央執行委員
(三井住建道路労働組合)



増本 正博
中央執行委員
(フジタ道路職員組合)



西田 達郎
中央執行委員
(東京舗装工業社員労働組合)



上村 将広
会計監事
(大林道路職員組合)



大澤 哲夫
会計監事
(大成ロテック社員組合)

退任役員紹介

**第33回定期大会をもちまして、下記の方々が退任されました。
今後の各氏のご活躍を祈念するとともに、当協議会における
重責を全うされたことに感謝の意を申し上げます。**



山本 英人
(NIPPO労働組合)
任期：平成29年度
役職：中央執行委員



静 正人
(三井住建道路労働組合)
任期：平成28年度～平成29年度
役職：中央執行委員



杉原 慶太
(東京舗装工業社員労働組合)
任期：平成24年度～平成29年度
役職：中央執行委員



雲林院 弘行
(大林道路職員組合)
任期：平成27年度～平成29年度
役職：会計幹事



中田 旨洋
(大成ロテック社員組合)
任期：平成28年度～平成29年度
役職：会計幹事

物知りクイズ

今年の残りもあと1ヶ月となりました。東京では寒くなってきましたが、木枯らし1号が吹いておらず、冬のたよりはもう少し先になりそうです。

2018年は、さまざまな出来事がありました。今年は自然災害が多く、大阪北部地震、西日本豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震と発生し、災害や復旧作業で大変な想いをされた組合員の方々がいらっしゃったと思います。また、6月には働き方改革関連法案が可決・成立し、来年度より始まります。時短や休日取得の実現に向けて取り組み、働きがいのある職場の環境づくりと豊かな生活の実現に向けて改善していかなければなりません。

今回の「物知りクイズ」は、2018年であった出来事の中でスポーツイベントから出題します。いろいろとありましたが、皆さんいくつ覚えているでしょうか？

- Q1.** 1月：大相撲初場所西前頭3枚目の力士が平幕力士として6年ぶりに優勝しました。この力士とは？
①貴景勝 ②御嶽海 ③栃ノ心 ④妙義龍
- Q2.** 2月：平昌冬季五輪で日本選手団が獲得したメダル数は？
①10個 ②13個 ③15個 ④18個
- Q3.** 7月：サッカーW杯ロシア大会で日本代表は、惜しくも決勝トーナメント1回戦で2-3で逆転負けをした相手国は？
①ポーランド ②ベルギー ③デンマーク ④クロアチア
- Q4.** 9月：女子シングルスで大阪なおみが日本勢で男女通じて四大大会で初めて優勝しました。その大会は？
①全豪オープン ②全仏オープン ③全英オープン ④全米オープン

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。

たくさんのご応募をお待ちしております。

- 解答 ●住所(会社宛の場合は会社名もご記入ください)
- 氏名 ●所属単組名
- 今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
- 締め切り 2018年12月28日(金)
- 宛先 〒135-0051 東京都江東区枝川2-13-1 前田道路労働組合内
道路建設産業労働組合協議会「PAVE」宛
FAX 03-6458-4085 E-mail: kumiai@maedaroad.co.jp

■PAVE95号物知りクイズ当選者

該当者なし

多数の応募をお待ちしております！！

編集後記

今年の6月29日に働き方改革関連法案が可決・成立し、建設業は5年の猶予期間が設けられておりますが、2019年4月1日より改正法が施行されます。日建連や道建協は4週8休に向けて、2018年4月より毎月の第二土曜日閉所運動を展開しておりますが、我々、道建労協は2003年より実施してきた6月と11月の第2土曜日統一閉所に特化して、今後も継続して活動を進めてまいります。

建設産労懇の加盟他組織や業界団体より少し遅れをとっておりますが、まずはこの2日間だけでも必ず休むという意識を強く持っていただきたく、引き続き啓蒙活動を行ってまいります。

これから繁忙期に入りますが、お体には十分ご留意下さいますようお願い申し上げます。

前田道路労働組合 龍王 嘉比土